

骨身にしみる!! 農作業体験

平成27年度消費・安全対策交付金(食育事例)
事業実施主体:生活協同組合コープしが(滋賀県)

- JAや生産者等の協力により、「ファーマーチャレンジ隊」を結成し、様々な野菜の体験活動を実施。
- JAと生協がコラボすることにより、生産から消費まで、消費者に対する体系的な食育活動を実施。
- 単なる植付け(種まき)作業や収穫作業だけでなく、中間管理作業を組入れることにより、農作業の大変さを深く理解できる体験としている。



【取組の内容】

○「じゃがいも」の農作業体験



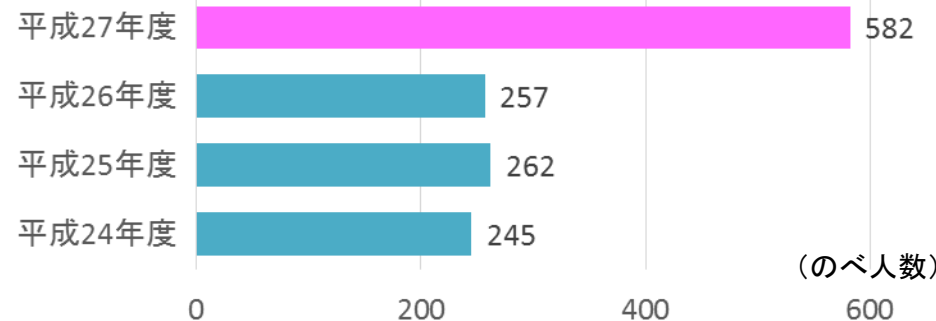
○「サツマイモ」の農作業体験



じゃがいも、かぼちゃ、サツマイモ、こかぶ、だいこん、にんじんと複数の野菜の農作業体験を組み入れることにより、各々の作業内容や、作業の大変さが異なることを理解できるようにしている。

【取組の成果】

農作業等体験参加者数の推移



平成27年度における体験参加者の増加要因

- ・ 地域との連携をより強めるため、取組を2農協に拡大。
- ・ 食と農のつながりをより深めるため、連携農協との取組を強化。

○ 参加者の感想

- ・ 農業についての関心が高まったとともに、すべての作業が重労働で農家の苦勞を感じました。
- ・ 農業や食べ物の大切さについて、子供と楽しみながら、いっしょに考えるよい機会となった。